

狭山エリア新聞

【問合せ先】ASA入曾
 Tel: 04-2959-4055
 【発行所】狭山エリア新聞編集室
 Tel: 049-265-1886
 Fax: 049-265-1887
 【記事提供】狭山CATV

第41回 入間航空祭

11月3日(火)、航空自衛隊入間基地で「第41回入間航空祭」が開催されました。

基地内には全国各地で実際の訓練で使用されている、F15型戦闘機や、地上配備型迎撃ミサイル「PAC3」など22種類が展示され、普段は目にする事の出来ない飛行機を一目見ようと展示機の前に



は、大きな人だかりができ、大人から子供まで夢中になって見入っていました。

また、YS-11とU125A飛行点検機による展示飛行、T-4、5機による編隊展示飛行、V-107A、UH-60救難ヘリコプターとCH-47J輸送ヘリコプター、U-125A救難捜索機による救難救助を想定した活動が公開されました。

飛行展示では、全てのパイロットの出身地や名前が紹介され、埼玉県内、狭山市、飯能市などの出身者も多かった。

市などの出身者も多数有り地元の見物客は、親近感を高めていました。

1時15分、6機のブルーインパルスが空中で息の合った数々のアクロバティックな演目を披露すると、会場からは大きな歓声が湧き起こり多くの観客を魅了しました。

その他にも上空から真下に向かって編隊を大きく開くレインフォーメーションや、2機で機体を回転させながら飛び回るコーク・スクリーン等全28の演目が披露され

第20回 さやま大茶会

11月1日(日)、県営狭山稲荷山公園で「第20回 さやま大茶会」が開催されました。



「二碗からふれあい」を：色はさみどり、狭山に生まれた抹茶と玉露をテーマにして行われ、今年個人、団体、中学・高校など13席が参加しました。

狭山茶を広く発信していくことを目的としており、野だてによるお茶席とあって毎年遠方からも多くの人が訪れます。今年も約9500人が来場しました。

大茶会では狭山市で育まれた抹茶「明松」と玉露「伊利麻路」が使用されました。狭山抹茶「明松」は、市内の茶生産者有志が開発、平成3年に誕生しました。平成18年からは抹茶となるてん茶の製造工場が市内で稼働し、一段と質の向上が図られ、茶道関係者からの評価も高まっています。

10月22日(木)、柏原河川敷公園で「狭山市シニアエンジョイスports大会」が開催されました。



作品は、絵画31点、切り絵6点、写真8点、

クラブ連合会が運営を受託、市内在住の概ね60歳以上の方を対象にスポーツを通して参加者相互の交流を図り、心身の健康増進と生きがいを高めることを目的に開催され、今年で9回目を迎えます。

この日行われたのは5種目で、ゲートボール、ゴルフ、テニス、バドミントン、卓球。また、ボウリングは新狭山グラウンドボウルとそれぞ



また、包丁研ぎやお菓子づくりの他、海外の子どもたちにポリオワクチンを提供する「エコキャップ運動」に協力するためペットボトルキャップの回収が行われました。

このバザーの収益は、両校の楽器の購入費や部活動の活動費などに使用されるなど児童生徒に還元される予定です。

創立30周年記念 狭山市民美術協会展&生涯学習展

10月20日(土)、市民会館で「創立30周年記念 狭山市民美術協会展&生涯学習展」が開催されました。

同協会は、昭和54年、狭山市民が誰でもジャンル・材料を問わず制作し、気軽に発表できるようにな会をつくりました。

デジタルアート11点、手芸4点、書道21点、篆刻工芸53点、団体展示としてこぶし福祉会の作品4点、歴代役員作品8点が展示されました。

当日は開場30分前から入り口に行列ができ、開場を待つ人々のために同中学校の吹奏楽部の演奏が披露されました。

また、包丁研ぎやお菓子づくりの他、海外の子どもたちにポリオワクチンを提供する「エコキャップ運動」に協力するためペットボトルキャップの回収が行われました。

柏原中学校 バザー開催

10月31日(土)、柏原中学校でバザーが行われました。



同中学校で毎年開催されており、学校だけでなく地域住民が多数協力し、地域と一体となった「地域の中の学校」を体現する取り組みとして行われていました。